



☆秋号メインピックアップ☆

- ◆訪問診療のご案内（診療エリアは？、どのような手続き？、担当医は？）……………（2～3ページ）
- ◆上手な医療のかかり方（コロナ禍でも医療機関で必要な受診を！）……………（折込）
- ◆インフルエンザ予防接種開始（新型コロナウイルス情報も）……………（4、5ページ）

■訪問診療のご案内

訪問診療（在宅医療）とは、お一人で通院が困難な患者さまのもと（ご自宅や施設）に医師、看護師が定期的に診療にお伺いし、計画的に治療・看護・健康管理等を行うものです。定期訪問に加え、緊急時には必要に応じて臨時往診や入院先の手配なども行います。訪問診療の目的は病気の治療だけではありません。転倒や寝たきりの予防、肺炎や褥瘡（床ずれ）などの予防、栄養状態の管理など、予測されるリスクを回避し、入院が必要な状態を未然に防ぐことも重要な目的です。

【訪問診療担当医】



診察を終えて記念撮影

三好正規病院長
（山大医学部研修医指導風景）武山純一郎医師
（4/1着任、地域医療経験豊富）

■上手な医療のかかり方（8月公開厚生労働省公式ホームページより）

1. 過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。
2. コロナ禍でも持病の治療や予防接種・健診等の健康管理は重要です。
3. 医療機関ではしっかりとした感染防止対策が行われています。
4. 具合が悪いなど健康に不安がある時は、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

■10月1日（木）からインフルエンザ予防接種開始、予約受付中！！■

秋の深まりとともにインフルエンザの季節が近づいて来ます。インフルエンザは例年12月中旬から急増し1～3月がピークになる傾向がありますが、予防のためには、**早目の予防接種が何より大事です**。今年の予防接種は10月1日から開始、現在、外来にて予約受付中です。

■医療法人協愛会理念

1. “地域の安心支援拠点” 安心と信頼を提供します
2. “皆さまの健康長寿” その人らしい生活を支えます
3. “四者満足” 希望と満足を実感できる法人でありつづけます

■基本方針

1. “思い” を大切にした医療・予防・ケアに取り組みます
2. 安全・納得の技術を提供します
3. 切れ目のない地域連携で皆さまを支えます
4. 24時間、365日、まごころサービスで皆さまを支えます
5. 安心と信頼を提供できる人材を育成します

「上手な医療のかかり方」訪問診療のご利用をご提案します。

秋涼のみぎり、皆さまにおかれましてはお健やかに過ごしてでしょうか。

2019年末から始まりましたコロナ禍の状況下、当病院外来におきましても、2020年3月からコロナ感染対策として正面玄関でお声かけを行っております。

ご来院の患者さまには多大なご迷惑をおかけしておりますこととお詫び申し上げます。何卒、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

さて、当病院では地域の皆さまの健康支援として以前より訪問診療を行っております。

訪問診療とは、病気や障害があっても住み慣れた家で過ごしたいという方が、ご自宅に居ながら医療を受けることができる仕組みです。

医師と外来看護師が定期的にご自宅や施設を訪問し、診療、薬の処方、療養上の相談や指導等をさせていただきます。

■そこで皆さまにご報告です！

新しく訪問診療担当医師が加わり、医師2名体制になりました！！

当病院の訪問診療担当医師が三好正規病院長に加え、武山純一郎医師が加わることとなりました。

以前より、三好病院長が訪問診療を行って参りましたが、当病院の理念である地域の安心支援拠点として、地域の皆さまの健康長寿をお支えしたいとの思いから、このたび訪問診療拡大を目指すこととなりました。

このコロナ禍におきまして、高齢のご両親を病院に連れて行くのが不安、とのお声をよく聞くようになりました。また、以前からご高齢の患者さまがバスやタクシーで通院され、外来での待ち時間もありお疲れの方も見かけます。ご家族の方が車椅子を車に載せて付き添い来院される方、県外からご両親の通院のために帰省される方、ご高齢で外出するのも困難なご家族を介護されている方など、通院患者さまとご家族さまのご事情は様々です。通院が困難な方、ご家族の送迎が困難な方など、お気軽にご相談ください。

相談窓口は外来内科・整形外科受付ですが、下記電話番号でも受け付けております。

お電話でのお問い合わせは当病院代表番号：0836-65-2200

訪問日は月曜日・木曜日・金曜日の午後のいずれか1ヶ月に2回の訪問となります。

時間・曜日は要相談となります。

内服処方箋の取り扱いも要相談となりますので、お気軽にご相談ください。

地域の皆さまの健康支援へ微力ながらお手伝いができましたら幸いです。

外来看護師長 松下 智恵

■武山純一郎医師のメッセージ

このたび、訪問診療を始めさせていただくことになりました武山です！！

通院が困難な患者さまの「かかりつけ医」として、定期的にご自宅や施設にお伺いし診療いたします。

在宅医療の最大のメリットは『患者さまが住み慣れた環境で安心して過ごせること』だと思います。

ご本人の意見を傾聴し、ご家族とも積極的にコミュニケーションを図ることで顔の見える思いやりのある診療を心がけます。

「一人暮らしで通院が困難な方」

「老々介護でお困りの方」

「外来での待ち時間がつらく、できれば自宅で診療を受けたいとお考えの方」

「自宅でご家族に囲まれて療養生活を送りたい方」

などが対象です。

訪問診療をご希望される方は、ご本人、介護者から当病院までご相談ください。

医療機関の相談員や医師、看護師との事前打ち合わせを行い、診療内容を決定した上で訪問診療を開始いたします。

どうぞよろしくお願いいたします。



これから訪問診療に出発します



訪問看護ステーション「すこやかナース」のご案内

訪問診療とあわせて、訪問看護のご利用も検討してみませんか。

現在、訪問看護師5名体制で24時間365日対応しています。次のような医療処置にお困りの方、お気軽にご相談ください。

- ★人工肛門、インスリン、気管カニューレ
 - ★吸引、胃ろう、自己導尿、バルンカテーテル
 - ★褥瘡、創部処置、浣腸、点滴など
- 在宅での看取りも可能です。



連絡先：0836-65-5585（管理者：林 恵美）

営業時間：月～金 8:30～17:30 土 8:30～12:30

*営業時間外は待機当番制で24時間対応

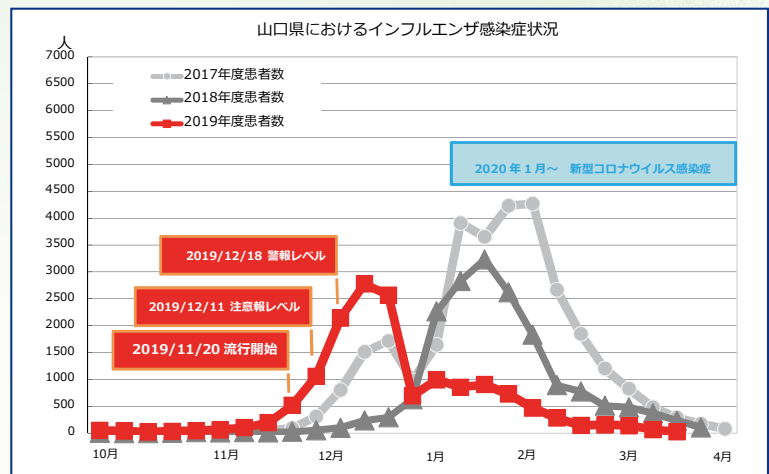
「上手な医療のかかり方」 インフルエンザ予防接種の 早期接種をご提案します。



薬剤科科長 松尾義哉

Q. 今年度のインフルエンザ感染症予想は？

昨年度は12月中頃より感染の拡大が見られました(右図参照)。一方、本年度は新型コロナウイルス感染症により皆様の感染対策への意識が高まり、インフルエンザ感染症のピークを予想することは難しいのが現状です。しかし、冬期になり体調が崩れる12月～3月にかけて流行し、さらに新型コロナウイルス感染症と同時流行(ツインデミック)により治療が困難になることが予想されます。そのことから、これからの皆様一人一人の健康管理と維持が大切になると考えます。



Q. 予防接種をどうして受けるの？

予防接種を受けることでインフルエンザに全く罹らなくなるわけではありません。しかし、ある程度の予防効果(発症予防)と、もし罹っても症状が重くならない効果(重症化予防)が期待できます。また、集団生活においては施設内流行を抑える効果(流行予防)もあります。特に、高齢者の方々には、この3つの効果が大きく期待できます。また、新型コロナウイルスワクチンがない今年度は、この3つの効果によりインフルエンザ感染症からご自身を守ることは大切です。

Q. 予防接種を受ける時期はいつが効果的ですか？

個人差はありますが、接種後約2週間から効果が現れ、その効果は5か月間持続するといわれています。近年、12月過ぎ頃から翌年3月終わりまでインフルエンザ流行がみられています(上図参照)。従って、なるべく早い時期10月から11月初めまでの接種が効果的です。

特に本年度は新型コロナウイルスとの同時流行(ツインデミック)が懸念されるため、できるだけ早めの接種をお勧めします。厚労省部会も優先的な接種の呼びかけとして、「10月より高齢者等の定期接種対象者や65歳未満の基礎疾患のある人、妊婦、小学2年生までの小児」への接種を勧めています。

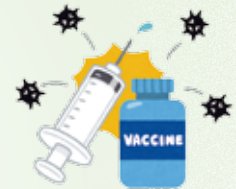
Q. 昨年も予防接種しましたが今年も受けたほうがよいのですか？

今年度のワクチンも昨年と同じく4種類（A型2種類、B型2種類）の混合ワクチンです。しかし、専門家による協議の結果で決定されたもので、昨年度のそれとは成分が異なります。よって、今年も接種することをお勧めします。

ワクチンは有効期限が短く、製造に時間がかかり、代替品がありません。今年度は新型コロナウイルスワクチンがないため、インフルエンザワクチンの需要の急増が予想されますので早めの接種をお勧めします。

Q. 接種料金は？

① 12歳以下	1回目：2,550円	2回目：2,550円
② 13歳以上64歳以下	1回目：3,970円	(2回目：2,550円)
③ 65歳以上	1回目：1,490円	(2回目：2,550円)



注1) 13歳以上は原則として1回接種

注2) 65歳以上で生保の方は全額公費負担

Q. 今年は高校生までの子供たちへの県や市の助成があると聞きましたが？

山口県と宇部市によるインフルエンザ予防接種費用の助成があり、助成対象者は接種費用が実質無料となります。当院でも取り扱いを行っております。

山口県助成：小児（6ヵ月～小学6年生）対象、1回4,000円（上限2回）

宇部市助成：宇部市に住民票のある中学生及び高校生の年齢に相当する者
1回4,000円（1回のみ）

*助成期間は何れも10月1日から開始、接種料金が実質無料となります。

当院での接種対象者は小学生～高校生とさせて頂いており、事前予約が必要です。

ワクチン量に限りがありますので、早めに予約をして頂きますようお願いいたします。

【予約・お問い合わせ】 ☎ 0836-65-2200（外来窓口）

「患者さんの権利を尊重すること、高齢者の皆さんをお守りすること」の憲章

■患者さんの権利を守ります■

1. 患者さんは、人間として尊重される権利を持っています。
2. 患者さんは、いつでも必要かつ十分な医療を受ける権利を持っています。
3. 患者さんは、プライバシーが尊重される権利を持っています。
4. 患者さんは、自分の選択によって治療を受ける権利と共に治療を拒否する権利を持っています。
5. 患者さんは、医師や医療従事者に十分な説明を受ける権利を持っています。
6. 患者さんは、平等な治療を受ける権利を持っています。

■「高齢者」の皆さんに対して■

◎尊厳を持って自立した生活が送れるよう支援します。◎健康で生きがいをもって、社会参加ができるよう手を差し伸べます。◎利用者の皆さんから、信頼され満足されるサービス提供に努めます。◎処遇の質的改善、権利擁護体制の充実に努めます。◎看護、介護を通して在宅への可能性を支援します。◎リハビリテーションを充実し、介護予防、社会参加の推進に努めます。◎フォアザペイシエントの姿勢を貫きます。

外来診療のご案内

阿知須共立病院

Tel 0836-65-2200 Fax 0836-65-4436

2020年10月1日

		月	火	水	木	金	土	専門分野	
内科	午前	山岡孝之	三好正規	三好正規	武山純一郎	三好正規	鈴木千衣子 (第1・4)	三好正規 鈴木 三好正敬	内科一般・内分泌内科 呼吸器内科・福祉相談 産業医学相談 内科一般・消化器内科 内視鏡内科・肝臓内科 内科一般・循環器内科 腎臓内科 内科一般・腎臓内科 内科一般・腎臓内科 内科一般・糖尿病内科 内科一般・循環器内科 内科一般・肝臓内科 消化器内科 内科一般・循環器内科 内科一般・循環器内科 内科一般・糖尿病内科 内科一般・呼吸器内科 内科一般・肝臓内科 消化器内科 内科一般 禁煙外来
		松原弘子	松原弘子	中島豪希	山岡孝之	畠中諒子	三好正敬 (第2・4)		
		中田祐樹	三好正敬	鈴木千衣子	鈴木千衣子	三好正敬	松原弘子 (第1・3)		
				沖田 極			佐島秀一 (第2・3)		
	午後				三好正敬 (無呼吸)	武山純一郎	武山純一郎	呼吸器 呼吸器医師 (毎週)	
		松原弘子		中島豪希			畠中諒子		
		中田祐樹	白井睦訓	山岡孝之					
			高橋達世		藤井郁英 (禁煙)				
脳神経外科	午前	石光 宏	石光 宏	石光 宏		石光 宏	石光 宏 (第1・3)	石光	脳神経外科一般・もの忘れ外来・認知症外来
	午後	石光 宏 (脳ドック)	石光 宏 (認知症外来)	石光 宏 (脳ドック)		石光 宏 (脳ドック)			
外科	午前	工藤明敏	原田俊夫	太田啓介 (手術)	工藤明敏	工藤明敏	工藤明敏 (第1・3) 原田俊夫 (第2・4)	工藤 原田 太田	外科一般・消化器外科 乳腺外科・血管外科 呼吸器外科・甲状腺外科 外科一般・消化器外科 外科一般
	午後	乳腺外来	(手術)	(手術)	(手術)	ストーマ外来 (第1・3)			
整形外科	午前	三好智之	三好智之	三好智之	三好智之	三好智之	松木佑太 三好智之 または 村松慶一	三好智之 村松 松木	整形一般 整形一般・手の外科 骨軟部腫瘍 整形一般
	午後					(手術)			

* 診察時間 月曜～金曜日 9:00～17:30 (12:30～14:00を除く)

土曜日 9:00～12:30 (午後休診) ※第5土曜日休診 (該当: 2020年5・8・10月、2021年1月)

* 上記時間外・深夜・休日は、当直医がおりますので、急患は受付させていただきます。

私たちは院内の最新情報、旬な情報を地域の皆様にいち早く、分かり易くお伝えする為に、病院だよりの発行やホームページの編集も行っています。知りたい情報がすぐに見つかる、見易いホームページとなっています。

阿知須共立病院

〒754-1277 山口市阿知須4841番地 1
Tel 0836-65-2200
<http://www.kyoai.or.jp>
地域連携室 ☎ 0836-65-2190



厚生労働省からの呼びかけと当院からのご提案

『上手な医療のかかり方』 — コロナ禍でも必要な受診を！！ —

厚生労働省から、コロナ禍における『上手な医療のかかり方』が呼びかけられています。今回は呼びかけの内容と、それを踏まえた当院からの皆様へのご提案をご案内します。

厚生労働省の呼びかけのポイント

1. 過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。

新型コロナへの感染の懸念から、緊急事態宣言解除後も受診控えが続いてしまっています。過度な受診控えは健康上のリスクを高めてしまう可能性があります。

2. コロナ禍でも持病の治療や予防接種・健診等の健康管理は重要です。

発熱、咳や腹痛等の症状は新型コロナに限りません。それ以外の病気の可能性もあるため、必要な受診を控えると最適な治療が受けられなくなる可能性があります。

2人に1人はかかると言われている“がん”も、早期がんでは無症状であることがほとんどです。定期的に飲んでいる薬を切らすと、持病が悪化してしまう恐れがあります。持病がある方は定期的な受診を。リハビリも可能な範囲で継続することが大切です。

3. 医療機関ではしっかりとした感染防止対策が行われています。

医療機関では院内感染防止のガイドライン等に基づき、感染対策に取り組んでいます。とりわけ当院では、職員のマスク着用や毎日の検温・体調チェックはもとより、正面玄関前におけるトリアージ(発熱や接触可能性の確認、消毒、検温等)、発熱外来の設置、ドライブスルー方式の診察等、皆様の大切な方をお守りするため徹底した感染防止対策に取り組んでおります。

さらにコロナとインフルエンザの同時流行も予測されるため、一般の患者さまと完全に動線を分離した発熱外来の設置(院外診察室・待合室・仮設トイレ)も予定しています。

皆様にはご迷惑とご負担をお掛けして申し訳なく思っておりますが、ご理解とご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

4. 具合が悪いなど健康に不安がある時は、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

自己判断で受診を控えることで、慢性疾患の症状悪化や、そのためにコロナ等のウイルスに対抗できない状態になることがあります。

当院から2つのご提案

今回の病院だより秋号でご案内しております、『訪問診療』と『インフルエンザ予防接種の早期接種』をご提案します。詳しくは記事本文をご覧ください。

★訪問診療

外出するとコロナ感染が不安、病院への通院も難しい、ただ受診は必要だけど・・・と悩んでおられる方は、思い切って訪問診療を利用してみませんか。
当院では訪問診療医師体制を強化いたしました。お気軽にご相談願います。

★インフルエンザ予防接種の早期接種

今年はコロナとインフルエンザのツインデミック（同時流行）が危惧されています。このため、少なくともインフルエンザの予防（発症予防・重症化予防・流行予防）のため、できるだけ10月～11月初めまでの早期接種をお勧めします。

○一般の患者さんと動線を分離した発熱外来を設置し、11月1日から運用開始予定



○玄関前でAIカメラを使って検温と、問診票で移動・接触歴の確認風景

